

埋蔵文化財 三日目

発行所

奈良国立文化財研究所
埋蔵文化財センター
〒630 奈良市佐紀町
☎ 0742-33-2324

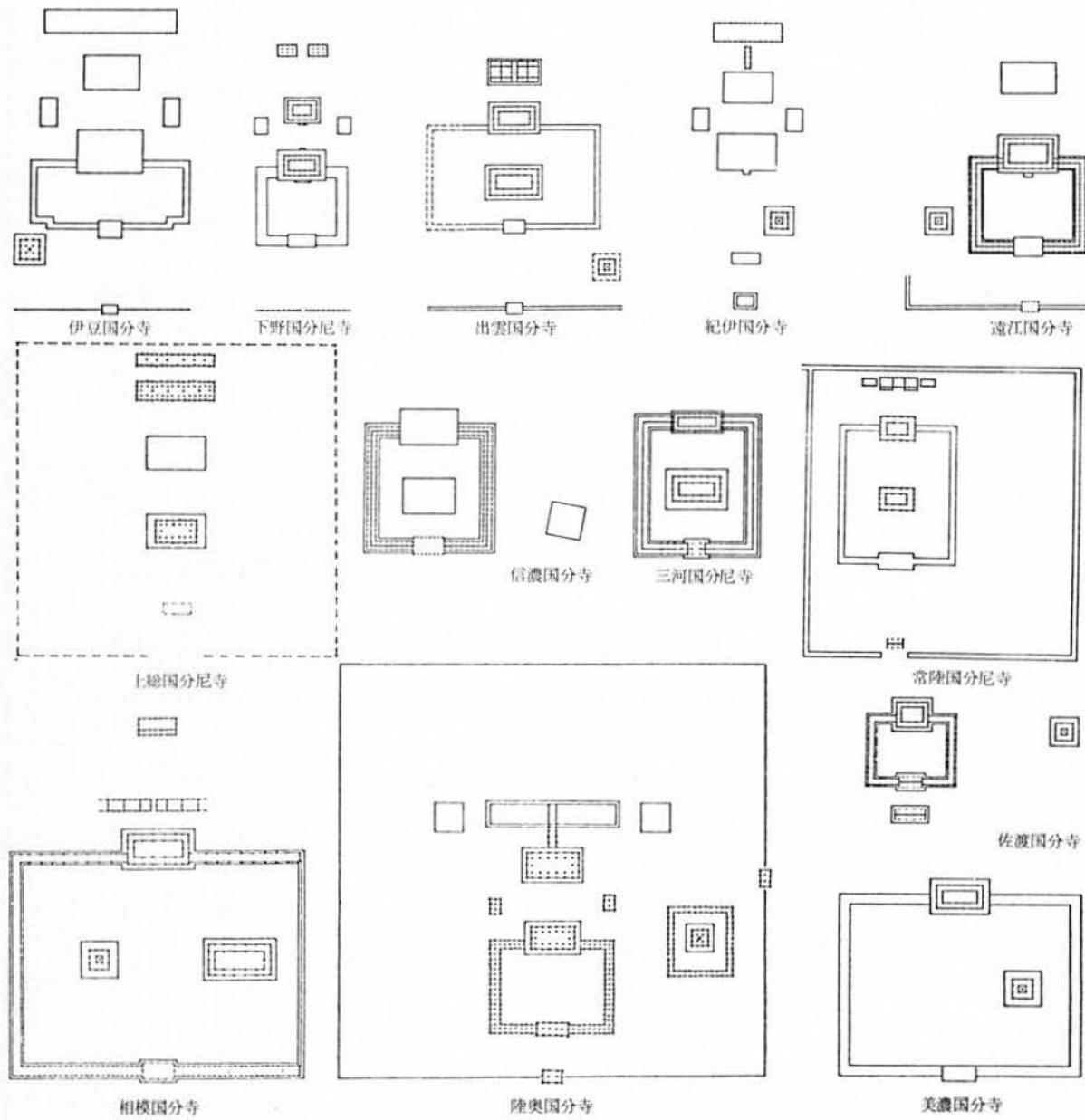
1979.12.17

22

CAO NEWS

Centre for Archaeological Operations

国分寺等発掘調査関係文献目録



国分寺等発掘調査関係文献目録

凡　例

1. この文献目録は、国分寺・国分尼寺・国分寺瓦窯跡関係の文献のうち、主として発掘調査結果を掲載したものを収録したものである。
2. この目録に収録した文献は、1979年8月までに刊行されたものとした。
3. 各国分寺・国分尼寺・国分寺瓦窯の欄には、その国分寺等との関係が論じられている遺跡・所在地を記し、次に、各遺跡の発掘調査年月と検出された主な遺構とを列挙した。したがって、ここに掲げた遺跡や所在地が必ずしもその国分寺等に比定されるものとは限らない。
4. 国分寺等の配列は、総国分寺・総国分尼寺をまず掲げ、以下は『延喜式』記載の国名順に従った。なお、史跡に指定されている遺跡には、右肩に※印を付した。
5. 各文献は、編著者名・書名・発行所・発行年月を、発行年月の順に並記した。
6. 発行年月には便宜的にA, B, C……を付し、その調査の報告を掲載する文献には〔A〕, 〔B〕等を書名末尾に付記するように努めた。
7. 各国分寺または国分尼寺欄の冒頭には、国分寺跡出土の代表的な軒瓦の組み合わせを図示した。図は縮尺約 $1/9$ に統一した。なお、図には一部手を加えたものがある。
8. 編著者名・書名・発行所の一部については次のように省略し、他にもこれに準じたものがある。

『埋蔵文化財調査報告書』	→『埋文報』	『文化財調査報告書』	→『文報』
草戸千軒町遺跡調査研究所	→草戸研	奈良国立文化財研究所	→奈文研
ニュー・サイエンス社	→N.S.社	日本考古学協会	→日考協
9. 表紙・裏表紙には、諸国国分寺・国分尼寺の伽藍配置図を掲げた。縮尺は約 $1/4000$ に統一した。
10. 本目録の作製にあたっては、各都府県教育委員会並びに次の諸機関・諸氏の協力を得た。

上田市教育委員会・国分寺市教育委員会・阿久津久・岡本稔・高井悌三郎・橋本澄夫・松下正司・吉岡康暢
ここで感謝の意を表したい。
11. この目録は、埋蔵文化財センター山崎信二・山中敏史を中心として編集したものである。目録作製にあたっては、原典に当って確認するように努めたが、実見できなかった文献も多いため、誤脱もあり、また逸している文献も多いと思われる。収録文献の訂正をも含めて、当センターまで御連絡いただきたい。後日改めて補足・訂正を期したい。

總國分寺

東大寺*

奈良県奈良市雜司町



A 29. 8 ~ 9	南門	G 65	その他
B 51. 6	僧房	H 67. 7 ~ 8	その他
C 58. 5	大仏殿 中門	I 69. 3 ~ 5	その他
D 59 ~ 60	回廊	J 70. 10 ~ 12	その他
E 63. 10 ~ 11	その他	K 70. 4 · 5 · 6 · 12 ~ 77. 1 · 3 · 4	西面大垣 その他
F 64. 8	西塔院		

編著者名	書	名	発行所	発行年月
奈良県庁	『東大寺南大門史 昭和修理要録』〔A〕		奈良県庁	30. 4
木村良雄	「東大寺三面僧坊の発掘」『美術史』4〔B〕		美術史学会	51. 9
石田茂作	「東大寺僧坊の発掘」『日本考古学協会第8回総会研究発表要旨』〔B〕		日 考 協	51. 10
奈良県教委	『重要文化財東大寺中門廻廊修理工事報告書』〔C · D〕		奈良県教委	61. 9
奈良県教委	『重要文化財東大寺法華堂経庫修理工事報告書』〔E〕		奈良県教委	64. 3
小島俊次*	「東大寺西塔院の緊急調査」『奈良県文化財調査報告書』8〔F〕		奈良県教委	65. 3
奈良県教委	『国宝東大寺鐘樓修理工事報告書』〔G〕		奈良県教委	67. 3
奈良県教委	『重要文化財東大寺三昧堂修理工事報告書』〔H〕		奈良県教委	69. 3
奈良県教委	『重要文化財東大寺法華堂手水屋修理工事報告書』〔I〕		奈良県教委	70. 5
奈良県教委	『国宝東大寺開山堂修理工事報告書』〔J〕		奈良県教委	71. 11
奈良県教委	『東大寺西面大垣跡発掘調査概報』〔K〕		奈良県教委	77. 1
奈文研	「東大寺西面大垣跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報』1977〔K〕		奈文研	77. 8

東大寺瓦窯

西塔院跡瓦窯跡 奈良県奈良市雜司

A 64. 9

伊良湖瓦窯跡 愛知県渥美郡渥美町伊良湖
B 65.
C 66. 5 ~ 6

万富瓦窯跡 岡山県赤磐郡瀬戸町万富

久永春男*	「瓦場第1地点(瓦場A区)」『昭和40年度豊川用水路関係遺跡調査報告』	愛知県教委	65. 1
奈良県教委	「東大寺西塔院の緊急調査」『奈良県文報』8〔A〕	奈良県教委	65. 3
石田茂作	「伊良湖東大寺瓦窯」『渥美半島古窯址群』		65. 4
愛知県教委	「瓦場遺跡群」『昭和40年度 渥美半島埋蔵文化財調査報告』〔B〕	愛知県教委	66. 3
愛知県教委	「伊良湖東大寺瓦窯群一瓦場遺跡群初立地区一」「瓦場遺跡群一六本松B地区一」『昭和41年度 渥美半島埋蔵文化財調査報告』〔C〕	愛知県教委	67. 3
泉森 峴	「東大寺西塔院跡発見の瓦窯」『奈良県観光』204〔A〕	奈良県観光新聞社	73. 11

総国分尼寺

大和法華寺

奈良県奈良市法華寺町



A	51.~54	僧房
B	54.9~10	食堂
C	55~56	鐘樓
D	72.5~72.10	僧房
E	74.1~3	金堂
F	74.5·7	その他
G	75.7·8·9, 76.1	講堂 その他
H	76.6·8·9, 77.2~3	金堂 僧房 その他

奈良県教委	『重要文化財法華寺本堂鐘樓南門修理工事報告書』 〔A・B・C〕	奈良県教委	56. 7
奈文研	「法華寺境内発掘調査」『昭和47年度平城宮跡発掘調査部 発掘調査概報(2)』〔D〕	奈文研	73. 5
奈文研	「平城宮跡とその周辺の発掘調査」法華寺境内『奈良国立 文化財研究所年報』1973〔D〕	奈文研	74. 3
奈文研	「平城宮跡とその周辺の発掘調査」法華寺金堂跡『奈良國 立文化財研究所年報』1974〔E〕	奈文研	75. 3
奈文研	「法華寺旧境内の発掘調査 現状変更届等にかかる調査」 『昭和49年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』〔F〕	奈文研	75. 4
奈文研	「法華寺旧境内の発掘調査」『昭和50年度平城宮跡発掘調 査部発掘調査概報』〔G〕	奈文研	76. 5
奈文研	「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」法華寺旧境内の調査 『奈良国立文化財研究所年報』1976〔G〕	奈文研	76.11
奈文研	「法華寺周辺の小規模調査」『昭和51年度平城宮跡発掘調 査部発掘調査概報』〔H〕	奈文研	77. 5
奈文研	「平城宮跡と平城京跡の調査」法華寺經樓・金堂推定地の 調査『奈良国立文化財研究所年報』1977〔H〕	奈文研	77. 8
太田博太郎	「法華寺の歴史」『大和古寺大観』5〔A・B・C・D・ E・F・G・H〕	岩波書店	78. 3

法華寺瓦窯

音如ケ谷瓦窯跡

京都府相楽郡木津町音如ケ谷

A	53.4	D	73.10~11
B	64	E	78.1~3
C	72.10		

奈文研	「第9・10・11・12・18号地点の調査」「音如ケ谷瓦窯の 調査報告」『奈良山 平城ニュータウン予定地内遺跡調 査概報』〔A・C〕	奈良県教委	73. 3
奈文研	「第9号地点一音如ケ谷瓦窯一の調査」『奈良山一Ⅱ 平 城ニュータウン予定地内遺跡調査概報』〔D〕	奈良県教委	74. 3
奈文研	「音如ケ谷瓦窯(第9地点)の調査」『奈良山一Ⅲ 平城 ニュータウン予定地内遺跡調査概報』〔E〕	京都府教委	79. 3

畿 内

山城国分寺*

京都府相楽郡加茂町大字例幣



A 76. 11 ~ 77. 3 推定金堂（恭仁宮大極殿）

B 77. 5 ~ 78. 3 塔周囲の溝

C 78. 11 ~ 79. 3 塔基壇

- 中谷雅治^{a,b} 「恭仁宮跡昭和51年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報 1977』〔A〕 京都府教委 77. 3
中谷雅治^{a,b} 「恭仁宮跡昭和52年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報 1978』〔B〕 京都府教委 78. 3
中谷雅治^{a,b} 「恭仁宮跡昭和53年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報 1979』〔C〕 京都府教委 79. 3

山城国分尼寺

京都府相楽郡加茂町法花寺野

A 27. 7 ~ 28. 4 築地？

- 佐藤虎雄 「法華寺野の遺跡」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』 京都府 30. 3
11 [A]

大和国分寺

奈良県橿原市八木町大字八木

大和国分尼寺

奈良県橿原市

河内国分寺

大阪府柏原市国分東条町

- A 70. 2 ~ 3 塔 中門
-

- 大阪府教委 『柏原市国分東条町河内国分寺跡発掘調査概要』〔A〕 大阪府教委 70. 3
水野正好 「河内国分寺」『仏教藝術』 103 [A] 毎日新聞社 75. 9
野上丈助 「河内国府と国分寺址について」『古代を考える』 10 [A] 古代を考える会 77. 2
水野正好 「河内国分寺」『自然と文化』'77春季号 観光資源保護財團 77. 3

河内国分尼寺

大阪府柏原市国分東条町

和泉国分寺

大阪府和泉市国分町

A 76. 11 ~ 12



和泉国分尼寺

摂津国分寺

大阪府大阪市天王寺区国分町

摂津国分尼寺

大阪府大阪市淀区国分寺町

東 海 道

伊賀国分寺*

三重県上野市西明寺長者屋敷

村治圓次郎 「伊賀国分寺」『国分寺の研究』上

考古学研究会 38. 8

伊賀国分尼寺

長楽山廃寺跡*

三重県上野市西明寺長楽山

伊勢国分寺*

三重県鈴鹿市国分町

佐藤虎雄 「伊勢国分寺」『国分寺の研究』上

考古学研究会 38. 3

日 考 協^は「伊勢国分寺跡」『三重の遺跡』

三重県良書出版会 78. 11

伊勢国分尼寺

伊勢国分寺瓦窯

川原井瓦窯跡

三重県鈴鹿市加佐登町川原井

A 79. 2 ~ 5



三重県教委 『川原井遺跡調査概要』

鈴鹿市遺跡調査会 79. 5

志摩国分寺

三重県志摩郡阿児町国府御堂の後



大西源一 「志摩国分寺」『国分寺の研究』上
日 考 協⁴ 「志摩国分寺跡」『三重の遺跡』

考古学研究会 38. 8
三重県良書出版会 78. 11

志摩国分尼寺

尾張国分寺

愛知県稻沢市矢合雜木畠

A 61. 10 ~ 12 金堂 塔



木越 宏 「尾張国分寺」『国分寺の研究』上
浅野 清 「尾張国分寺の発掘調査」『稲沢市史』〔A〕

考古学研究会 38. 8
稲 沢 市 68. 11

尾張国分尼寺

三河国分寺^{*}

愛知県豊川市八幡町本郷



三森定男 「三河国分寺」『国分寺の研究』上

考古学研究会 38. 8

三河国分尼寺^{*}

愛知県豊川市八幡町忍池

A 67. 7 ~ 8 金堂 講堂 中門 南門 回廊

愛知県教委 『史跡三河国分尼寺跡発掘調査図集』〔A〕

愛知県教委 68. 3

遠江国分寺*

静岡県磐田市中央町

A 51. 9

金堂 塔 講堂 中門 回廊



石田茂作 『遠江国分寺の研究』〔A〕

磐田市教委 62. 9

遠江国分尼寺

遠江国分寺瓦窯 龍天瓦窯跡

静岡県小笠郡大須賀町清ヶ谷

駿河国分寺

片山廃寺

静岡県静岡市大谷字片山

A 48. 11 ~ 12 金堂 講堂

B 56. 3

C 65. 8

D 66. 3 ~ 4 講堂 僧房

石田茂作 「静岡県片山廃寺址」『日本考古学年報』1 (昭和23年度) 日考協 51. 10
〔A〕

静岡市教委 『片山廃寺跡第3次発掘調査報告書』〔C〕 静岡市教委 66. 3

望月董弘 「静岡市片山廃寺調査概報」『東名高速道路(静岡県内工事)関係埋蔵文化財発掘調査報告書』〔D〕 静岡県教委 68. 6

駿河国分尼寺

静岡県静岡市屋形町

駿河国分寺瓦窯 宮川瓦窯跡

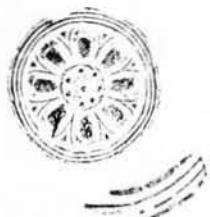
静岡県静岡市大谷字宮川

A 71. 7 ~ 8

伊豆国分寺*

静岡県三島市泉町～栄町

A 56. 11 ~ 12 金堂 塔 僧房 中門 回廊



大場磐雄	「伊豆国分寺」『国分寺の研究』上	考古学研究会	38. 8
軽部慈恩	「伊豆国分寺の伽藍配置」『日本考古学協会第19回総会研究発表要旨』〔A〕	日 考 協	57. 4
軽部慈恩	「伊豆の国府と国分寺」『三島市誌』上〔A〕	三 島 市	58. 4

伊豆国分尼寺 静岡県三島市南町

A 57. 5 推定金堂

軽部慈恩 「伊豆の国府と国分寺」『三島市誌』上〔A〕 三 島 市 58. 4

甲斐国分寺* 山梨県東八代郡一宮町国分

A 70. 8 金堂基壇と前面の敷石 塔址石段 瓦溜と土壙



仁科義比古*。「甲斐国分寺」『国分寺の研究』上 考古学研究会 38. 8

山梨県教委 『甲斐国分寺跡発掘調査概報』〔A〕 山梨県教委 71. 3

甲斐国分尼寺* 山梨県東八代郡一宮町東原

相模国分寺* 神奈川県海老名市国分

A 65. 12 講堂 中門 回廊
B 66. 10 ~ 12 塔 僧房 回廊 築地



文化財保護 委員会 『史跡相模国分寺跡昭和41年度発掘調査概報』〔A・B〕 文化財保護 委員会 66. 12

大岡 実 「史跡相模国分寺跡の発掘」『月刊文化財』44〔A・B〕 第一法規出 版株式会社 67. 5

岡田茂弘 「相模国分寺を掘る」『古美術』18〔A・B〕 三 彩 社 67. 7

大岡 実 「国史跡相模国分寺跡」『神奈川県文化財図鑑 史跡名勝天然記念物篇』 神奈川県教委 78. 3

相模国分尼寺 神奈川県海老名市国分

A 57.7

B 59.7 ~ 60.1

C 60.4 ~ 5

D 69.3

E 79.2 ~ 3

- 大川 清[✉] 「東京都町田市小山町瓦尾根第1号窯址」『古代』28〔A〕早大考古学会 58. 5
 大川 清 「相模国分寺瓦窯（平窯）の構造について」『日本考古学 日考協会第28回総会研究発表要旨』〔C〕 62. 4
 大川 清 「瓦窯における技術導入の一例」『歴史考古』7〔C〕歴史考古学研究会 62. 6
 大川 清 『瓦尾根瓦窯跡』町田市埋文報2 町田市教委 69.11
 大川 清[✉] 『東京都町田市瓦尾根瓦窯跡—相模国分寺瓦窯跡の調査』 国立館大学 69.11
 考古学研究室
 多摩丘陵窯跡群分布調査報告書』〔E〕 多摩丘陵窯跡群分布調査団 79. 3
 東京都教委 『多摩丘陵窯跡群調査報告』東京都埋文報6〔B〕 東京都教委 79. 3

武藏国分寺[†]

東京都国分寺市西元町2~3丁目



A 53.1	竪穴住居址	L 74.11~12 溝 [✉]
B 56.8~9	金堂 講堂	M 74.12~ 75.9 挖立柱建物 竪穴 住居 鋼治工房 [✉]
C 58.10	南大門推定地	N 75.5~6 溝 [✉] ·8·11~12
D 64.7	塔 金堂 中門 空濠	O 76.4~5 竪穴住居 [✉]
E 65.7~8	塔 金堂 中門 空濠 ·12	P 76.4~7 磐石建物 (恋ヶ窪堂址)
F 66.8·12	塔 金堂 中門 空濠 溝 北方建物(北院)	Q 76.5~12 挖立柱建物 址)
G 71.9	磐石建物 (恋ヶ窪堂 址)	R 76.8 東僧坊 柱列 溝
H 73.3~9	掘立柱建物 竪穴住 居井戸 [✉]	S 77.1~5 溝 [✉]
I 74.1~3	竪穴住居 溝 [✉]	T 77.4~ 78.4 挖立柱建物 竪穴住居 溝 [✉]
J 74.5~9	竪穴住居 溝 [✉]	
K 74.10	竪穴住居	

- 稻村坦元[✉] 「武藏国分寺址の調査」『東京府史蹟勝地調査報告書』1 東京府 23. 5
 甲野 勇 「武藏国分寺址附近の竪穴住居（予報）」『武藏野』 武藏野文化 50
 31—3·4 協会
 日考協特別委『武藏国分寺跡第一次発掘調査概要』〔B〕 日考協仏教遺跡調査特別委 56
 木内武男 「武藏国分寺址の調査」『博物館ニュース』105 日本博物館協会 56
 石田茂作 「武藏国分寺発掘調査概報」『日考協第18回総会研究発表』 日考協 56.11
 要旨』〔B〕
 石田茂作 「武藏国分寺と庶民の生活」『全通文化』10月号 57.10
 日考協特別委『昭和33年度武藏国分寺址発掘調査報告概要』〔C〕 日考協特別委 59
 矢島恭介 「武藏国分寺跡発掘調査概要—昭和33年度』『考古学雑誌』44—3〔C〕 日本考古学会 59. 2

樋本杜人	「東京都北多摩郡武藏国分寺址（第1次調査）」『日本考古学年報』9（昭和31年度）〔B〕	日 考 協	61. 3
奥田直栄	「東京都武藏国分寺址西北方の住居址」『日本考古学年報』6（昭和28年度）〔A〕	日 考 協	63. 10
滝口 宏	「武藏国分寺」『月刊文化財』11〔D〕	第一法規出版	64. 8
大場磐雄 ^{a)}	「北多摩南部地区における考古学上の調査」『北多摩文化財総合調査報告書第一分冊』東京都文報15	東京都教委	65. 3
内藤政恒	「武藏国分寺址昭和40年度夏季発掘略報」『歴史考古』13〔E〕	日本歴史考古学会	65. 9
滝口 宏	『武藏国分寺図譜』〔B・C・D・E・F〕	国分寺市教委	66. 12
甲野 勇	『武藏野を掘る』	雄山閣出版	67. 12
滝口 宏	「発掘調査からみた一總武=国分寺を中心として」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』13	早大文学部	67. 12
滝口 宏	「武藏国分寺址調査私見」『日本考古学論叢』2	雄山閣	68. 7
三輪嘉六	「史跡武藏国分寺跡」『月刊文化財』70	第一法規出版	69. 7
滝口 宏	「東京都武藏国分寺遺跡」『日本考古学年報』17（昭和39年度）〔D〕	日 考 協	69. 3
滝口 宏	「東京都国分寺市武藏国分寺址（第六次調査）」『日本考古学年報』19（昭和41年度）〔F〕	日 考 協	71. 3
泉町廃寺址 遺跡調査会	『恋ヶ窪堂址調査報告』〔G〕	泉町廃寺址遺跡調査会 ・国分寺市	73.
滝口 宏	『恋ヶ窪堂址』『日本考古学年報』24（1971年版）〔G〕	日 考 協	73. 3
門 国男	『武藏国分寺跡』『歴史手帖』1	名著出版	73. 11
有吉重蔵 ^{a)}	『武藏国分寺跡遺跡』『日本考古学年報』26（1973年版）〔H・I〕	日 考 協	75. 6
雪田 孝	「国分寺市武藏国分寺遺跡の調査」『調査・研究発表会I』 武藏野文化協会考古学部会	75. 12	
国分寺市教委	『昭和50年度武藏国分寺遺跡発掘調査概報』〔N〕	国分寺市教委	76. 3
雪田 孝 ^{a)}	「武藏国分寺跡（1）～（7）」『日本考古学年報』27（1974年版）〔J・K・L・M〕	日 考 協	76. 5
武藏国分寺 遺跡調査会	『武藏国分寺遺跡調査概報I』竹中工務店社員寮建設予定地試掘調査報告書〔O〕	国分寺市教委	76. 6
武藏国分寺 遺跡調査会	『武藏国分寺遺跡調査概報II 恋ヶ窪址第二次調査』	国分寺市教委	76. 7
有吉重蔵	「武藏国分寺関連遺跡」『調査・研究発表会II』〔P～R〕 東京都教委 武藏野文化協会考古学部会	77. 1	
滝口 宏	「武藏国分寺」『自然と文化』'77春季号	観光資源保護財团	77. 3
武藏国分寺 遺跡調査團	『武藏国分寺遺跡発掘調査概報III——都道17・145号線における水道管理設工事に伴なう発掘調査』	武藏国分寺 遺跡調査会	77. 11
武藏国分寺 遺跡調査会	『武藏国分寺跡』（パンフレット）	国分寺市教委	77. 11
福田信夫	「国分寺市武藏国分寺遺跡の調査」『調査・研究発表会III』 東京都教委 ・武藏野文化協会考古学部会	78. 3	
有吉重蔵	「国分寺市武藏国分寺遺跡の調査」『調査・研究発表会IV』 東京都教委 ・武藏野文化協会考古学部会	78. 12	
武藏国分寺 遺跡調査團	『武藏国分寺遺跡調査会年報1974—武藏国分寺跡』 武藏国分寺 遺跡調査会・国分寺市教委 〔H・J～L〕	79. 3	
上村昌男 ^{a)}	「武藏国分寺（第35次～第60次）」『日本考古学年報』30（1977年度版）〔T〕	日 考 協	79. 4

武藏国分尼寺

東京都国分寺市西元町3~4丁目

- A 64.3 尼房
 B 64.4~5 金堂
 C 69.3~5

滝口 宏 「東京都武藏国分寺遺跡」『日本考古学年報』17(昭和39 年度) [A・B]
 日考協 69. 3
 滝口 宏 『武藏国分尼寺』[A・B・C] 早大出版部 74. 4

武藏国分寺瓦窯 今宿(堺田)窯跡 埼玉県比企郡鳩山村
 A 50.2

大丸窯跡 東京都稻城市大丸
 B 50.5 C 56.10~11

谷津池窯跡 埼玉県入間郡東金子
 D 51.3~8 E 63.

高岡窯跡 埼玉県入間郡日高町高岡
 F 51.3 G 55.4

赤岩窯跡 埼玉県大里郡寄居町末野字赤岩
 H 53. I 54.9

御殿山窯跡群 東京都八王寺市由木村~宇津貫町~町田市柏原町
 J 54.9 K 58.7 L 59.12

亀ノ原窯跡 埼玉県比企郡
 M 57~59

谷野窯跡 東京都八王寺市加住町谷野馬場谷戸
 N 58.7~8

セイカチクボ窯跡 東京都町田市小山町
 O 59.12

長谷戸窯跡 東京都町田市小山町
 P 59.12

新沼窯跡 埼玉県比企郡鳩山村
 Q 60.

山田窯跡 埼玉県比企郡鳩山村赤沼
 R 60.

虫草山窯跡 埼玉県比企郡鳩山村大橋
 S 60. T 70.8~9

宮ノ前窯跡 埼玉県比企郡鳩山村奥田
 U 61.5

金沢窯跡	埼玉県比企郡鳩山村金沢寺山		
V 63. 5 ~ 6			
新久窯跡	埼玉県入間郡		
W 63.	X 69.		
八坂前窯跡	埼玉県入間郡武藏町		
Y 65.			
末野窯跡	埼玉県大里郡寄居町末野字藤田		
Z 76. 8 ~ 9			
宇野信四郎 吉田章一郎 内藤政恒 稻村坦元 稻村坦元 岡田茂弘 吉田章一郎 坂詰秀一 吉田章一郎 吉田章一郎 坂詰秀一 坂詰秀一 大川 清 久保常晴 坂詰秀一 大川 清 ⁱⁱ 久保常晴 ⁱⁱ 久保常晴 ⁱⁱ 久保常晴 ⁱⁱ 内藤政恒 久保常晴 ⁱⁱ	「埼玉県入間郡東金子村窯址発掘概報」『武藏野』32-3・4 合併号〔D〕 「埼玉県大里郡寄居町末野の窯址調査」『考古学雑誌』40-1〔H〕 「埼玉県入間郡金子坂瓦窯址」『日本考古学年報』3 (昭和25年度)〔D〕 「東京都南多摩郡瓦谷戸瓦窯址」『日本考古学年報』3 (昭和25年度)〔B〕 「埼玉県比企郡今宿瓦窯址」『日本考古学年報』3 (昭和25年度)〔A〕 「御殿山窯址調査略記」『やじり』1〔J〕 「埼玉県寄居末野円良田赤岩の窯跡」『上智史学』2〔I〕 「埼玉県比企郡亀の原窯址の調査」『立正史学』21・22合併号〔M〕 「埼玉県末野円良田窯址」『日本考古学年報』7 (昭和29年度)〔I〕 「埼玉県入間郡高岡窯址」『日本考古学年報』8 (昭和30年度)〔G〕 「埼玉県西部丘陵窯業関係遺跡の調査」(1)『古代文化』3-10〔M〕 「埼玉県西部丘陵窯業関係遺跡の調査」(2)『古代文化』4-1〔Q〕 「瓦窯址」『多摩丘陵文化財総合調査』東京都文化財調査紀要1〔B・C・J・K・L・O・P〕 「埼玉県比企郡亀ノ原窯業遺跡の調査——比企丘陵窯業関係遺跡調査概報(1)——」『日考協第25回総会研究発表要旨』〔M〕 「埼玉県西部丘陵窯業関係遺跡の調査」(3)『古代文化』4-5〔S〕 「八王寺市宇津貴町閑道第二号窯址」『古代』35〔K〕 『南比企窯業遺跡群——その基礎的研究——』〔M〕 「武藏比企丘陵窯業関係遺跡調査概報(II)」『日考協第27回総会研究発表要旨』〔Q〕 「武藏比企丘陵窯業関係遺跡調査概報(III)」『日考協昭和36年度大会研究発表要旨』〔R・S〕 「八王子市谷野瓦窯跡調査報告」『多摩考古』3〔N〕 多摩考古学研究会 「埼玉県比企郡亀ノ原窯業遺跡」『日本考古学年報』11 (昭和33年度)〔M〕	武藏野文化協会 日本考古学会 日 考 協 日 考 協 日 考 協 学習院高等科史学部 上智史学会 立正史学会 日 考 協 日 考 協 古代学協会 古代学協会 東京都教委 日 考 協 古代学協会 早大考古学会 小川書店 日 考 協 日 考 協 日 考 協 61. 12 62. 3	52. 4 54. 7 55. 4 55. 4 55. 4 56. 57. 9 58. 3 58. 3 58. 3 59. 3 59. 10 60. 1 60. 3 60. 4 60. 5 60. 7 61. 4 61. 4 61. 10 61. 12

内藤政恒	「東京都八王子市谷野瓦窯跡」『日本考古学年報』11 (昭和33年度) [N]	日 考 協	62. 3
大谷 勉	「南多摩郡由木村御殿山窯址調査概報」『多摩考古』4〔J〕	多摩考古研	62. 4
久保常晴	「武藏比企丘陵窯業関係遺跡調査概報(IV)」『日考協第28回総会研究発表要旨』〔U〕	日 考 協	62. 4
宇野信四郎	「東京都南多摩郡稻城村大丸窯跡発掘調査概報」『歴史考古』9・10〔B・C〕	歴史考古学会	63. 6
大川 清	「東京都南多摩郡御殿山窯址群」『日本考古学年報』12 (昭和34年度) [L]	日 考 協	64. 3
坂詰秀一	「埼玉県入間郡東金子窯跡群の研究」『台地研究』15〔E〕	台地研究会	64. 12
坂詰秀一	「埼玉県入間郡東金子瓦窯跡の調査」『日考協昭和40年度大会研究発表要旨』〔Y〕	日 考 協	65. 10
坂詰秀一	「埼玉県入間郡東金子における瓦窯跡と工房跡の調査」 『日考協昭和41年度大会研究発表要旨』〔E〕	日 考 協	66. 10
大川 清	「埼玉県比企郡金沢瓦窯址」『日本考古学年報』16 (昭和38年度) [V]	日 考 協	68. 3
坂詰秀一	「埼玉県八坂前瓦窯の調査」『武藏野』48-1〔Y〕	武藏野文化協会	69.
坂詰秀一	『武藏新久窯跡』〔W・X〕	雄 山 閣	71. 11
埼玉県遺跡調査会	『前内出窯址発掘調査報告書』埼玉県遺跡調査会報告24	埼玉県遺跡調査会	74. 3
寄居町教委	『末野窯址(花園支部)発掘調査』〔Z〕	寄居町教委	77. 3
坂詰秀一	『武藏・虫草山窯跡』〔S・T〕	鳩山村教委	77. 9
大川 清	『多摩丘陵窯跡群調査報告』東京都埋文報6〔B・C・J・K・L・O・P〕	東京都教委	79. 3

安房国分寺

千葉県館山市国分 959-2



- A 34 土壇
- B 76.12 寺域確認
- C 77.7~8 推定金堂
- D 78.7~8 推定金堂 住居跡

滝口 宏 ^氏	「安房国分寺考」『千葉県史蹟名勝天然紀念物調査報告12』 千葉県教委 35. 3 〔A〕		
安房国分寺調査団	「安房国分寺第一次調査概報」『古代』62〔B〕	早稲田大学考古学会	77. 3
安房国分寺調査団	『安房国分寺第一次調査概報』〔B〕	千葉県教委	77. 3
石井則孝	「房総の国分寺跡調査と古代寺院について」『千葉県の歴史』15〔A・B〕	千葉県県民課	78. 2
安房国分寺調査団	『安房国分寺第二次調査概報』〔C〕	千葉県教委	78. 3
安房国分寺調査団	『安房国分寺第三次調査概報』〔D〕	千葉県教委	79. 3

安房国分尼寺

上総国分寺

千葉県市原市惣社字上クボミ



A 48. 8 ~ 9	金堂
B 50. 10	南門
C 66. 7 ~ 8	金堂 塔
D 67. 8	金堂 塔 講堂 中門
E 68. 7 ~ 8	回廊

- 滝口 宏 「上総国分寺」『千葉県史蹟名勝天然記念物調査報告書(1) 市原遺跡発掘調査概報』〔A〕
- 滝口 宏 「千葉県上総国分寺址」『日本考古学年報』1 (昭和23年度) 〔A〕
- 滝口 宏 「千葉県上総国分寺址」『日本考古学年報』3 (昭和25年度) 〔B〕
- 堀井三友 「上総国分寺」『国分寺址之研究』〔A・B〕 中沢印刷株式会社 56. 11
- 須田 勉 「上総国分寺址」『新鏡』〔A・B・C〕 早稲田大学 67.
- 上総国分寺 調査団 『昭和42年度上総国分寺址調査報告』〔D〕 千葉県教委 68. 3
- 大谷定信 「上総国分寺塔址について」〔C・D〕 68.
- 上総国分寺 調査団 『昭和43年度上総国分寺址調査報告』〔E〕 千葉県教委 69. 3
- 上総国分寺 調査団 『昭和44年度上総国分寺址調査報告』〔F〕 千葉県教委 70. 3
- 滝口 宏 「国分寺造営」『古代の日本』7 関東〔A・B・C・D・E〕 角川書店 70. 6
- 多宇邦雄 「上総国分寺の研究」『早稲田実業高校研究紀要5』〔A・B・C・D・E〕 早稲田実業高校 70. 12
- 滝口 宏 「千葉県市原市上総国分寺址」『日本考古学年報』19 (昭和41年度) 〔C〕 日考協 71. 3
- 滝口 宏 「上総国分寺址」『日本考古学年報』20 (昭和32年度) 〔D〕 日考協 72. 3
- 滝口 宏 「上総国分寺」〔A・B・C・D・E〕 千葉県教委 73. 3
- 石井則孝 「国府と国分寺」『古代房総文化の謎』〔A・B・C・D・E〕 新人物往来社 77. 4
- 石井則孝 「房総の国分寺跡調査と古代寺院について」『千葉県の歴史』15 千葉県 78. 2

上総国分尼寺

千葉県市原市山田橋字坊作

A 48. 8 ~ 9	金堂	C 70.	金堂	講堂
B 68.	金堂 講堂 中門	D 73. 8	講堂 尼房	軒廊

- 千葉県教委 「上総国分尼寺」『千葉県史蹟名勝天然記念物調査報告書(1) 市原遺跡発掘調査概報』〔A〕 千葉県教委 49. 3
- 滝口 宏 「千葉県上総国分尼寺址」『日本考古学年報』1 (昭和23年度) 〔A〕 日考協 51. 10
- 千葉県教委 『昭和43年度上総国分寺址調査報告書』〔B〕 千葉県教委 69. 3
- 滝口 宏 「国分寺造営」『古代の日本』7 関東〔A・B〕 角川書店 70. 6
- 滝口 宏 「上総国分尼寺の調査」『考古学ジャーナル』49〔B〕 N・S・社 70. 10
- 千葉県教委 『昭和45年度上総国分尼寺址調査略報』〔C〕 千葉県教委 71. 3

滝口 宏	『上総国分寺』〔A・B・C〕	千葉県教委	73. 3
滝口 宏	「上総国分寺尼坊址」『武藏国分尼寺』〔D〕	早大出版部	74. 4
須田 勉 ^a	「上総国分尼寺」『仏教藝術』103 〔A・B・C・D〕	毎日新聞社	75. 9
宮本敬一	「上総国分尼寺跡（002）北辺部の調査—尼坊・軒廊・講堂址—郭を中心とする発掘調査概要—」『南向原』〔D〕	市原市教委	76. 1
石井則孝	「国分と国分寺」『古代房総の謎』〔A・B・C・D〕	新人物往来社	77. 4
石井則孝	「房総の国分寺跡調査と古代寺院について」『千葉県の歴史』15 〔E・C・D〕	千葉県	78. 2

下総国分寺^b



千葉県市川市国分町国分寺

A 32. 5	金堂
B 65. 10	金堂
C 66. 7	金堂 塔 講堂
D 74. 3	北限範囲確認
E 75. 3	西限範囲確認

平野元三郎 ^a	「下総国分寺」『国分寺の研究』上〔A〕	考古学研究会	38. 8
塚本文次	「下総国分寺本堂の礎石について」『建築史』5-2 〔A〕建築史研究会	43. 3	
滝口 宏	「下総国府・国分二寺」『早稲田大学学術研究』2〔A〕 早大学術研究会	54. 1	
滝口 宏	「下総国分寺址」『市川市史』2 市川市史編さん委	64. 3	
市川市教委	「国分寺の造営」『市川——市民読本——』〔B〕 市川市教委	66. 3	
熊野正也	「下総国分僧寺跡の発掘調査」『大和文化研究』12-1 大和文化研究会	67. 1	
	〔C〕		
滝口 宏	「発掘調査から見た一總武=国分寺を中心として」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』13 〔A・B・C〕	早大文学部	67. 12
杉原莊介 ^a	『下総国分寺址』〔B・C〕 市川市教委	68. 3	
江川良一	「下総国分寺」『房総史学』9 〔B・C〕 地方史研究会	69. 4	
滝口 宏	「国分寺營造」『古代の日本』9 関東〔A・B・C〕 角川書店	70. 6	
熊野正也	「下総国分寺址及び同瓦窯址」『日本考古学年報』19(昭和41年度)〔C〕 日考協	71. 3	
熊野正也	「国分寺の建立」『市川風土記』〔B・C〕 市川ジャーナル社	73. 11	
石井則孝	「下総国分僧寺・尼寺の伽藍と下総国府の位置関係について」『史館』3 〔B・C〕 市川ジャーナル社	74. 11	
市川市立博物館	『下総国分寺址のはなし』市立市川博物館遺跡シリーズ2 弘文社	75. 3	
	〔B・C〕		
滝口 宏 ^a	「下総国分僧寺址寺域北限確認調査(速報)」『昭和49年度市立市川博物館年報』〔D〕 市立市川博物館	75. 6	
滝口 宏 ^a	「下総国分寺址西限確認調査—昭和50年度発掘調査概報」『昭和50年度市立市川博物館年報』〔E〕 市立市川博物館	76. 6	
佐々木和博	「下総国分僧寺の寺域および寺域内地割について」『史館』6 〔B・C・D〕 市川ジャーナル社	76. 11	
石川則孝	「国府と国分寺」『古代房総文仮の謎』〔A・B・C・D・E〕 新人物往来社	77. 4	
石川則孝 ^a	「国分寺 尼寺の伽藍」『いちかわ再発見—考古学からみた市川—』〔A・B・C・D・E〕 市川ジャーナル社	77. 7	

石川則孝 「房総国分寺跡調査と古代寺院について」『千葉県の歴史』千葉県 78. 2
15 [A・B・C・D・E]

下總国分尼寺*

千葉県市川市国分町庚申前

A 49. 3~4 基壇 C 71. 尼寺北側の住居址
B 67. 7~8 金堂 講堂

平野元三郎^a 「千葉県市川市下總国分尼寺址」『日本考古学年報』2 (昭和24年度) [A] 日考協 54. 4

杉原莊介^a 『下總国分寺址』[B] 千葉県教委 68. 3

熊野正也 「下總国分尼寺跡の発掘調査」『大和文化研究』13~12 大和文化研究会 68. 12
[A]

滝口 宏 「国分寺造営」『古代の日本』7 関東 [B] 角川書店 70. 6

熊野正他 「下總国分寺址のはなし」市立市川博物館遺跡シリーズ2 弘文社 75. 3
[B]

石井則孝 「国府と国分寺」『古代房総文化の謎』[B・C] 新人物往来社 77. 4

石井則孝^a 「国分寺・尼寺の伽藍」『いちかわ再発見—考古学からみた市川一』[B・C] 市川ジャー
ナル社 77. 7

石井則孝 「房総国分寺跡調査と古代寺院について」『千葉県の歴史』千葉県 78. 2
15 [B・C]

下總国分寺瓦窯

千葉県市川市国分町1790番地

A 66. 7

熊野正也 「千葉県下總国分寺址及び同瓦窯址」『日本考古学年報』19 (昭和41年度) [A] 日考協 71. 3

常陸国分寺*

茨城県石岡市石岡

A 77. 4 鐘楼または経楼



石岡市教委 『常陸国分寺書院新築予定地発掘調査報告』[A] 石岡市教委 78. 3

常陸国分尼寺*

茨城県石岡市石岡尼寺ヶ原

A 69. 8 中門 回廊 寺域西限の溝
B 70. 8 尼房 食堂 南門 寺域北限 寺域南限
C 71. 8~11~12 寺域東限 寺域南限
D 78. 1 寺域南隣接地

石岡市教委	『常陸國分尼寺址調査報告（第一次調査）』〔A〕	石岡市教委	70. 3
高杉洋二郎 ^a	「常陸國分尼寺跡の発掘調査をめぐって」『月刊文化財』 第一法規出版 86〔A・B〕		70.11
石岡市教委	『常陸國分尼寺跡発掘調査報告（第二次調査）』〔B〕	石岡市教委	71. 3
石岡市教委	『常陸國分尼寺跡調査報告（第三次調査）』〔C〕	石岡市教委	72. 3
三輪嘉六	「常陸國分尼寺」『仏教藝術』 103 特集・諸国国分寺の発 掘調査〔A・B・C〕	毎日新聞社	75. 9
三輪嘉六	「常陸國分尼寺」『自然と文化』'77春季号	観光資源保護財團	77. 3
石岡市教委	『常陸國分尼寺跡調査報告（第四次調査）』〔D〕	石岡市教委	78. 6

常陸國分寺瓦窯 瓦塚瓦窯跡 茨城県新治郡八郷町大字瓦谷字高芝

A 68. 3 ~ 4

西宮一男	『瓦塚瓦窯跡調査概報』〔A〕	茨城県教委	68. 3
豊崎 卓	『瓦会のむかし — 瓦窯跡』	鈴木 豊	76.

東山道

近江国分寺 澄田廃寺跡 滋賀県大津市野郷原一丁目



A 59. 6 ~ 7
B 63. 3

金堂 塔 僧房
その他

国分廃寺跡 滋賀県大津市国分

C 61. 7 ~ 8
D 62. 7

礎石等

甲賀寺跡^{*}
(紫香楽宮跡) 滋賀県甲賀郡信楽町

E 30. 1

肥後和男	「紫香楽宮跡の研究」『滋賀県史蹟調査報告』4〔E〕	滋賀県保勝会	31. 10
杉山信三	「瀬田廃寺跡調査概報」『日考協第24回総回研究発表要旨』 日考協 〔A〕	日考協	59. 10
滋賀県教委	「瀬田廃寺跡発掘調査報告」『滋賀県史蹟調査報告』12 〔A〕	滋賀県教委	61. 3
大津市教委	『近江国分寺跡発掘調査概報』〔C〕	大津市教委	61. 10
水野正好	「瀬田廃寺跡」『東海道幹線増設工事に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書』〔B〕	文化財保護 委員会	65. 3
島田 晓	「国分廃寺跡」『東海道幹線増設工事に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書』〔D〕	文化財保護 委員会	65. 3

近江国分尼寺

美濃国分寺



岐阜県大垣市青野町

- A 69.3 中門 回廊 南限の築地
B 69.11～12 塔 回廊 寺域東・西・北限
C 70.11～71.3 金堂 中門
D 75.7～8 塔 回廊
E 76.7～8 埋積基壇（講堂）
F 78.7～8 僧房 講堂北側建物
G 79.7～8 鐘樓

- 大垣市教委 『史跡美濃国分寺跡発掘調査報告 昭和43年度』〔A〕 大垣市教委 69.3
大垣市教委 『史跡美濃国分寺跡発掘調査報告Ⅱ 昭和44年度』〔B〕 大垣市教委 70.3
大垣市教委 『史跡美濃国分寺跡発掘調査報告Ⅲ 昭和45年度』〔C〕 大垣市教委 71.3
奈文研 「美濃国分寺の発掘」調査研究彙報『奈良国立文化財研究 奈文研 所年報』1977〔D〕
八賀晋 「史跡美濃国分寺発掘調査10年」『文化ぎふ』34〔A・B 岐阜県教委 78.11
・C・D・E・F〕

美濃国分尼寺

岐阜県不破郡垂井町平尾

飛騨国分寺



岐阜県高山市総和町1丁目

- A 53.9 磁石建物

- 国分寺本堂 『飛騨国分寺本堂』〔A〕 国分寺本堂 59.4
修理委員会

飛騨国分尼寺

飛騨国分寺瓦窯 赤保木瓦窯跡

岐阜県高山市赤保木町字ツツミガ平55

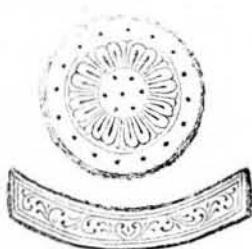
- A 73.11
B 74.11

- 高山市教委 『飛騨国分寺瓦窯発掘調査報告』〔A・B〕

- 高山市教委 75.3

信濃国分寺

長野県上田市大字国分字仁王堂 1105



A 63.3 ~ 4	金堂 講堂
B 66.3	寺域四至の究明
C 67.3	金堂 回廊
D 68.9 ~ 69.4	講堂
E 69.11 ~ 12	金堂 講堂 中門 回廊
F 70.11 ~ 12	塔 僧房
G 71.7 ~ 8	中門 回廊 寺域西限

長野県教委	『信濃国分寺』	長野県教委	61. 2
上田市教委	『信濃国分寺跡』〔A〕	吉川弘文館	65. 3
上田市教委	『信濃国分寺第2次発掘調査報告概要』〔B〕	上田市教委	66. 3
上田市教委	『信濃国分寺跡第3次発掘調査概報（付第2次発掘調査概報）』〔B・C〕	上田市教委	67. 10
内藤政恒 ^著	「長野県上田市信濃国分寺址」『日本考古学年報』16（昭和38年度）〔A〕	日考協	68. 3
上田市教委	「信濃国分寺跡 史跡保存環境整備事業に伴う発掘調査の報告」（昭和44年度）〔D〕	上田市教委	70. 3
上田市教委	「信濃国分寺跡 史跡保存環境整備事業に伴う発掘調査の報告」（昭和45年度）〔E〕	上田市教委	71. 3
上田市教委	『史跡信濃国分寺跡及び堂西遺跡調査報告』〔G〕	上田市教委	71. 11
上田市教委	『信濃国分寺跡 史跡保存環境整備事業に伴う発掘調査の報告』〔F〕	上田市教委	72. 3
上田市教委	『信濃国分寺一本編一』〔A・B・C・D・E・F・G〕	吉川弘文館	74. 3

信濃国分尼寺

長野県上田市大字国分字明神前

A 66.3	金堂
B 67.3	金堂 講堂
C 69.8・9・11 ~ 12	金堂 講堂 中門 回廊
D 71.7 ~ 8	尼坊 経蔵 鐘楼 回廊 築地
上田市教委	『信濃国分寺跡第3次発掘調査概報（付第2次発掘調査概報）』〔A・B〕
上田市教委	『史跡信濃国分寺跡及び堂西遺跡調査報告』〔D〕
上田市教委	『信濃国分寺一本編一』〔A・B・C・D〕

信濃国分寺瓦窯 国分瓦窯跡[†]

長野県上田市大字国分字仁王堂 1117-2

A 67.3

大川 清	「長野県信濃国分寺瓦窯跡探訪記」『考古学ジャーナル』16〔A・B〕	N. S. 社	68. 1
上田市教委	『信濃国分寺一本編一』〔A〕	吉川弘文館	74. 3

国分寺瓦窯跡

長野県埴科郡坂城町大字坂城土井入 5503

B 61. 11

上野国分寺



群馬県群馬郡群馬町大字東国分

- | | |
|---------------|------------|
| A 70. 3 ~ 5 | 国分寺・尼寺中間地域 |
| B 74. 3 ~ 5 | 寺域南限と北限 |
| C 77. 10 ~ 12 | 国分寺・尼寺中間地域 |
| D 79. 1 ~ 3 | 国分寺西隣接地域 |

群馬県教委	『上野国分寺周辺地域発掘調査報告——僧寺尼寺中間地域の考古学的検討——』〔A〕	群馬県教委	71. 3
群馬町教委	『上野国分寺寺域縁辺の調査』〔B〕	群馬県教委	75. 3
井上唯雄	「上野国分寺遺跡」『群馬の考古学展——近年の調査から』	県立博物館	75.
群馬県教委	『上野国分寺隣接地域発掘調査報告』〔C・D〕	群馬県教委	79. 3

上野国分尼寺

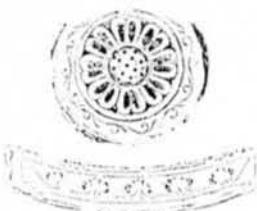
群馬県群馬郡群馬町大字東国分

- | | |
|---------------|----------|
| A 69. 6 ~ 8 | 金堂 講堂 中門 |
| B 70. 7 ~ 8 | 講堂 その他 |
| C 77. 10 ~ 12 | その他 |

群馬県教委	『上野国分尼寺跡発掘調査報告書(昭和44年度調査概報)』〔A〕	群馬県教委	70. 3
群馬県教委	『上野国分尼寺跡発掘調査報告(昭和45年度調査概報)』〔B〕	群馬県教委	71. 3
群馬県教委	『上野国分寺隣接地域発掘調査報告』〔C〕	群馬県教委	79. 3

下野国分寺

栃木県下都賀郡国分寺町大字国分



- | | | | |
|------|------------------|--------|-------|
| 太田静六 | 「下野国分寺」『国分寺の研究』上 | 考古学研究会 | 38. 8 |
|------|------------------|--------|-------|

下野国分尼寺

栃木県下都賀郡国分寺町大字国分字糸迦堂

- | | |
|-------------|---------------------|
| A 64. 5 | 金堂 講堂 中門 僧房 寺域南限の土塁 |
| B 65. 7 ~ 8 | 南門 回廊 寺域東限 |
| C 66. 7 ~ 8 | 金堂 講堂 尼房 |
| D 68. 7 ~ 8 | 金堂 鐘楼 経樓 回廊 |

塙 静夫	「下野国分尼寺址の発掘」『下野史学』17〔A〕	下野史学会	64. 7
辰巳四郎 ^a	『下野国分尼寺発掘調査概報』〔A〕	栃木県教委	64. 3
塙 静夫	「下野国分尼寺址の調査」『栃木県考古学研究』4〔A〕	栃木県考古学会	64. 7
辰巳四郎 ^a	『下野国分尼寺発掘調査概報』〔A〕	栃木県教委	64. 10

大和久震平	「下野国分尼寺跡の発掘調査について」『歴史考古』12 〔A〕	日本歴史考 古学会	64. 12
三宅敏之	「下野国分尼寺跡の保存」『月刊文化財』21〔A〕	第一法規出版	65. 6
栃木県文化 財保護課	「史跡下野国分尼寺発掘調査について」『教育月報』'65-10 栃木県教委 〔B〕	栃木県教委	65. 10
大和久震平	「下野国分尼寺跡第二次発掘調査について」〔B〕	栃木県教委	65. 10
大和久震平	『下野国分尼寺跡第三次発掘調査概報』〔C〕	栃木県教委	66. 10
大和久震平	「下野国分尼寺跡第二・三次発掘調査について」『考古 学雑誌』53-1〔B・C〕	日本考古学会	67. 6
大和久震平	「下野国分尼寺跡の発掘について」『日考協昭和42年度大 会研究発表要旨』〔C〕	日 考 協	67. 10
大和久震平	「下野国分尼寺跡整備」『栃木県考古学会誌』2・3 栃木県考古学会	68. 9	
大和久震平	『国指定史跡下野国分尼寺跡史跡整備発掘調査概報（第4 次発掘調査）』〔D〕	栃木県教委	68. 10
栃木県教委	『下野国分尼寺跡』栃木県埋文報2〔A・B・C・D〕	栃木県教委	69. 3
大和久震平	『栃木県下都賀郡下野国分尼寺跡』『日本考古学年報』18 日 考 協	70. 4	
大和久震平	「下野国分尼寺跡の発掘調査と史跡整備」『栃木史論』8 栃木史論編 集委員会	71. 3	
国分寺町教委	『下野国分尼寺跡史跡整備事業報告書』 国分寺町教委	71. 3	
大和久震平	『栃木県下都賀郡下野国分尼寺跡第3次調査』『日本考古 学年報』19（昭和41年度）〔C〕 日 考 協	71. 3	
渡辺龍瑞	「下野国分尼寺跡」『栃木県史』資料編 考古二 栃 木 県	79. 3	

下野国分寺瓦窯	幡張窯跡	栃木県下都賀郡藤岡町大字都賀字宮前 A 59. 1
	立山窯跡	栃木県佐野市黒袴町45番地
		A 59. 1
	水道山窯跡	栃木県宇都宮市戸祭
	B 62. 11	H 77. 7 ~ 8
	鶴舞窯跡	栃木県佐野市犬伏 鶴舞
	C 64. 7	
	東山窯跡	栃木県佐野市黒袴町東山
	D 68. 8	
	八幡窯跡	栃木県佐野市関川町八幡
	E 70. 12	
	町谷窯跡	栃木県佐野市町谷町谷道南
	F 71. 1	
	根瓦瓦窯跡	栃木県宇都郡上戸祭
	G 76. 8 ~ 9	

大川 清 「栃木県下都賀郡藤岡町幡帳第一号瓦窯址」『歴史考古』3
〔A〕 日本歴史考
古学会 59. 12

大川 清	『栃木県佐野市安蘇山麓古代窯業遺跡』〔A〕	窯業史研究所	63. 3
大川 清	『栃木県宇都宮市水道山瓦窯址』『栃木県考古学会誌』1 〔B〕	栃木県考古 学会	66. 8
大川 清	『栃木県宇都宮市水道山瓦窯址』『日本考古学年報』15 (昭和37年度)〔B〕	日 考 協	67. 3
大川 清	『日本の古代瓦窯』〔B・C・D・F〕	雄 山 閣	72. 2
栃木県教委	『東北縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書』〔C・E〕	栃木県教委	72. 3
大川 清	『古代の窯業遺跡』『佐野市史資料編 1』〔C・D・E・F〕	佐野市史編 さん委員会	75. 1
大川 清	『下野古代窯業遺跡』〔A・B・C・D・E・F〕	飛鳥書房	75. 11
栃木県教委	『宇都宮市戸祭 山本山古墳・水道山瓦窯跡発掘調査報告 書 - 日本住宅公団(宇都宮市戸祭地区)地内 -』栃木県 埋文報29〔H・G〕	栃木県教委	79. 3

陸奥国分寺*

宮城県仙台市木ノ下2・3丁目



A 55. 8 ~ 9	金堂 塔 回廊
B 56. 8	講堂 僧房 鐘樓 経樓 中門 南門 回廊
C 57. 8	塔 僧房
D 58. 8	塔 東門
E 59. 8	講堂 僧房
F 67. 4	寺域東限
G 73. 2 ~ 3	塔院回廊

伊東信雄	『陸奥国分寺址の発掘』『日考協第20回総会研究発表要旨』 〔A・B・C〕	日 考 協	57. 10
伊東信雄*	『陸奥国分寺跡発掘調査報告書』〔A・B・C・D・E〕	宮城県教委	61. 3
宮城県教委	『陸奥国分寺跡東北部発掘調査報告』県文報14〔F〕	宮城県教委	67. 12
仙台市教委	『史跡陸奥国分寺跡環境整備予備調査(塔院廻廊跡)発掘 調査説明会資料』〔G〕	仙台市教委	73. 3
岩淵康治	『陸奥国分寺』『自然と文化』'77春季号	観光資源保護財団	77. 3

陸奥国分尼寺*

宮城県仙台市志波町1丁目

A 64. 7	金堂
---------	----

伊東信雄	「宮城県仙台市陸奥国分尼寺跡」『日本考古学年報』17〔A〕	日 考 協	69. 3
伊東信雄*	『史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書』〔A〕	仙台市教委	69. 3

陸奥国分寺瓦窯

春日大沢瓦窯跡 宮城県宮城郡利府町春日

A 36. 6 ~ 7

安養寺中圓瓦窯跡	宮城県仙台市原町小田原字安養寺中
B 66. 3	

庚申前窯跡	宮城県仙台市原町小田原字庚申前
C 67. 12	

蟹沢中瓦窯跡 宮城県仙台市原町小田原字蟹沢中

D 71. 8

安養寺下瓦窯跡 宮城県仙台市原町小田原字安養寺下

E 72. 7

台の原五本松窯跡 宮城県仙台市荒巻五本松

F 72. 8

内藤政恒 『宮城県利府村春日瓦焼場大沢瓦窯址研究調査報告』 東北帝国大学 39. 1
東北帝国大学法文学部奥羽史料調査部〔A〕

古窯跡研究会 『仙台市原町小田原蟹沢中瓦窯跡発掘調査報告書』〔D〕 古窯跡研究会 72. 3

加藤 孝^{はさか} 「蟹沢中瓦窯跡の調査」『日考協第38回総会研究発表要旨』 日考協 72. 5
〔D〕

古窯跡研究会 『研究報告第2冊 陸奥官窯跡群』〔B・C・D・E・F〕 古窯跡研究会 73. 3

仙台市教委 『仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書』仙台市文報6 仙台市教委 73. 10
〔F〕

出羽国分寺 堂の前遺跡^{*} 山形県飽海郡八幡町法蓮寺

A 73. 10 ~ 11

B 74. 10 ~ 12 基壇建物^{はづか}

C 75. 4 ~ 5 井戸^{いの}

D 75. 7 ~ 8 基壇建物

E 75. 10 ~ 12 井戸^{いの}

F 76. 7 ~ 9 掘立柱建物 溝^く

G 78. 8 ~ 11 溝 掘立柱建物^{はづか}

H 79. 5 ~ 础石建物 井戸 北限溝 南限溝

阿部正巳 「出羽国分寺」『国分寺の研究』上 考古学研究会 38. 8

山形県教委 『八幡町堂ノ前遺跡分布調査報告』〔A〕 山形県教委 74. 3

山形県教委 『堂の前遺跡第1次調査報告書』『県埋文報』5〔A・B〕 山形県教委 75. 3

佐藤庄一 『堂ノ前遺跡』『日本考古学年報』26(1973年版)〔A〕 日考協 75. 6

山形県教委 『堂の前遺跡昭和50年度調査略報』『県埋文報』7〔C・D・E〕 山形県教委 76. 3

佐藤庄一 『堂の前遺跡』『日本考古学年報』27(1974年版)〔B〕 日考協 76. 5

山形県教委 『堂の前遺跡昭和51年度調査略報』『県埋文報』10〔F〕 山形県教委 77. 3

阿部義平 「古代出羽国の発掘調査——堂の前遺跡とその周辺——」 吉川弘文館 78. 8
『日本歴史』363

山形県教委 『八幡町堂の前遺跡6・7次発掘調査説明会資料』〔G〕 山形県教委 78. 11

山形県教委 『八幡町 堂の前遺跡 第8次調査説明資料』〔H〕 山形県教委 79. 7

出羽国分尼寺

北 陸 道

若狭国分寺*

福井県小浜市国分

- A 72. 7 ~ 8 塔 金堂 寺域東限 寺域北限
B 73. 7 ~ 8 金堂 講堂 中門 回廊
C 74. 10 ~ 12 南門

- 小浜市教委 『若狭国分寺跡 I 昭和47・48年度発掘調査概報』[A・B] 小浜市教委 74. 3
小浜市教委 『若狭国分寺跡 II 第3次(昭和49年度)発掘調査概報』 小浜市教委 75. 3
〔C〕
河原純之 「若狭国分寺」『仏教藝術』103 特集・諸國国分寺の発 毎日新聞社 75. 9
掘調査 [A・B・C]
河原純之 「若狭国分寺」『自然と文化』'77春季号 観光資源保護財團 77. 3
小浜市教委 『若狭国分寺跡保存管理計画策定書』 小浜市教委 79. 3

若狭国分尼寺

越前国分寺

越前国分尼寺

加賀国分寺

古府廃寺跡

石川県小松市古府町

- A 54. 7 根石群
B 73.



宮地廃寺跡

石川県加賀市宮地町

津波倉廃寺跡

石川県加賀市庄町

保賀廃寺跡

石川県加賀市保賀町

- 国府村役場 『国府村史』[A] 国府村役場 56. 9
上野与一 「石川県加賀国分寺址」『日本考古学年報』7(昭和29年)
度) [A] 日考協 58. 3
吉岡康暢 「平安前期の地方政治と国分寺(上) 一加賀国分寺をめぐ
る問題一」『金沢大学日本海域研究所報告』8 [A・B] 金沢大学 76. 12

加賀国分尼寺

*
能登国分寺

石川県七尾市国分町～古府町



A 22.11	塔 倉庫
B 57.	礎石群
C 69.3	倉庫様建物
D 70.10～11	寺域確認
E 71.9～11	金堂 塔 築地
F 72.9～11	講堂 中門 築地 寺域

上田三平	「能登、国分寺址」『石川県史蹟名勝調査報告』2〔A〕	石川県	26. 3
浜田賢太郎	「古代（奈良・平安時代）」『七尾市史』資料編4〔A・B〕	七尾市役所	70. 3
七尾市教委	『史跡能登国分寺跡 第一次調査概報』〔C〕	七尾市役所	71. 3
七尾市教委	『能登国分寺跡第二次調査概報』〔D〕	七尾市役所	72. 3
七尾市教委	『能登国分寺跡発掘調査報告』〔C・D・E〕	七尾市役所	73. 3
黒崎直	「能登国分寺」『仏教芸術』103 特集・諸国国分寺の発掘調査〔C・D・E〕	毎日新聞社	75. 9
吉岡康暢	「平安前期の地方政治と国分寺（下）—能登国分寺をめぐる問題—」『金沢大学日本海域研究所報告』9〔D・E・F〕	金沢大学	77. 10

能登国分尼寺

千野廃寺跡

石川県七尾市千野町

A 69.4	
B 74.9～10	掘立柱列（寺域南限？）

浜岡賢太郎	「古代（奈良・平安時代）」『七尾市史』資料編4〔A〕	七尾市役所	70. 3
七尾市教委	『千野廃寺跡発掘調査報告』〔B〕	七尾市教委	75. 3

越中国分寺

富山県高岡市伏木一宮国分堂 807



A 66.8	推定金堂基壇
--------	--------

富山県教委	『越中国分寺とその周辺の遺跡調査報告書』〔A〕	富山県教委	67. 3
-------	-------------------------	-------	-------

越中国分尼寺

越後国分寺（尼寺）愛宕国分遺跡

新潟県上越市大字愛宕国分

A 65.7～8

横瀧山遺跡 新潟県三島郡寺泊町大字竹森

B 76. 8

栗原遺跡 新潟県新井市大字栗原字塚田

C 78. 10

D 79. 8 ~ 10

新潟県教委	『御館跡緊急調査経過報告』〔A〕	新潟県教委	66. 3
寺泊町教委	『横瀧山廃寺跡発掘調査概報——昭和51年度調査——』〔B〕	寺泊町教委	77. 3
新井市教委	『新潟県栗原遺跡発掘調査概報』〔C〕	新井市教委	79. 3
新潟県教委 ^a	『栗原遺跡現地説明会資料』〔D〕	新潟県教委・新井市教委	79. 9

越後国分尼寺

越後国分寺瓦窯 向橋窯跡 新潟県上越市大字向橋字北の入 1021 ~ 1022

A 67. 10

高田市文化財調査委 「向橋瓦窯跡」『高田市文報』11 高田市教委 70. 3

佐渡国分寺

新潟県佐渡郡真野町大字国分寺

A 27.

金堂 塔 南門 回廊 新堂

B 53. 7

金堂 塔 中門 南門 回廊

高橋義彦^a 「佐渡国分寺址」『新潟県史跡名勝天然記念物調査報告』1 〔A〕 新潟県 30. 4

斎藤 忠 「佐渡国分寺の諸建築跡とその規模」『越佐研究』5・6集 合併号〔B〕 新潟県人文研究会 53. 11

新潟県教委 「新潟県佐渡郡佐渡国分寺址」『日本考古学年報』6 (昭和28年度) 〔B〕 日考協 63. 10

佐渡国分尼寺

佐渡国分寺瓦窯 小泊窯跡群 新潟県佐渡郡羽茂町大字小泊字カメ畠

A 54. 8

本間嘉晴^a 「佐渡小木半島周辺の考古学的調査」『南佐渡』新潟県文化財年報2 〔A〕 新潟県教委 58. 5

山陰道

丹波国分寺*

京都府亀岡市千歳町国分小字桜久保

丹波国分尼寺

御上人林廃寺跡

京都府亀岡市河原林町



- | | |
|------------------------------|--------|
| A 72. 7 ~ 73. 2 | 基壇地覆石列 |
| B 76. 7 ~ 8 | 東西溝 |
| C 77. 8 · 9 · 12 ~
78. 12 | 土壙状遺構 |
| D 78. 12 ~ 79. 3 | 土壙状遺構 |

安井良三*『亀岡市河原林町御上人林発掘調査報告』〔A〕

亀岡市教委 73. 2

江谷 寛 『御上人林発掘調査報告(第2次)』〔B〕

亀岡市教委 77. 2

樋口隆久 『御上人林廃寺第3次発掘調査報告』〔C〕

亀岡市教委 78. 3

樋口隆久 『御上人林廃寺第4次発掘調査報告』〔D〕

亀岡市教委 79. 3

丹後国分寺*

京都府宮津市大字国分



八木茂美 『丹波国分寺』『国分寺の研究』下

考古学研究会 38. 8

丹後国分尼寺

但馬国分寺*

兵庫県城崎郡日高町国分寺



- | | |
|---------------|----------------|
| A 73. 8 ~ 9 | 金堂 ? 塔 |
| B 74. 7 ~ 8 | 金堂 講堂 中門 |
| C 74. 11 ~ 12 | 中門 |
| D 77. 6 ~ 8 | 寺域東南隅付近 建物跡 井戸 |

但馬国分寺 跡調査委*『但馬国分僧寺跡』〔A〕 但馬国分寺跡調査委員会・同発掘調査団 73. 10

但馬国分寺 跡調査委*『但馬国分僧寺跡 1974年発掘調査現地説明会資料』〔B〕 但馬国分寺跡調査委員会・同発掘調査団 74. 8

但馬国分寺 跡発掘調査団『但馬国分僧寺跡 1974年発掘調査現地説明会』〔C〕 但馬国分寺跡発掘調査団 74. 12

但馬国分寺 跡発掘調査委*『但馬国分寺跡 I 昭和48年度調査概報』日高町文報1 日高町教委 75. 7

樋本誠一	「但馬国分寺」『仏教芸術』103〔A～C〕	毎日新聞社	75. 9
但馬国分寺	『但馬国分僧寺跡 第5次発掘調査現地説明会資料』〔A〕	但馬国分寺 跡発掘調査団	77. 8
岡崎正雄 ^{a)}	『埋蔵文化財発掘調査実績報告書』		77. 9
岡崎正雄	「但馬国分寺跡出土の木簡」第3回木簡研究集会報告要旨』奈文研		77. 12

但馬国分尼寺 兵庫県城崎郡日高町水上字尼堂～山本字法華寺

- A 66. 7
- B 66. 8
- C 67. 3～5

水上遺跡調査団	『日高町水上遺跡と但馬国分尼寺』現地説明会資料 〔A・B・C〕	日高町教委	67. 5
多淵敏樹	「但馬国分尼寺跡と水上遺跡の発掘調査について」『日本建築学会論文報告集』〔A〕	日本建築学会	67. 10

因幡国分寺^{b)} 鳥取県岩美郡国府町大字国分寺

- A 72. 10～12 塔 その他
- B 73. 10～74. 3 寺域外郭線
- C 75. 10～76. 3 塔 南門
- D 76. 7～8 南門 寺域外郭線 その他
- E 78. 7～8 その他

鳥取県教委	『因幡国分寺跡発掘調査略報』〔A〕	鳥取県教委	72. 11
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告』〔A〕	鳥取県教委	73. 3
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書II』〔B〕	鳥取県教委	74. 3
亀井熙人	「因幡国分寺跡遺跡」『日本考古学年報』26(1973年版)〔B〕	日考協	75. 6
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書IV』〔C〕	鳥取県教委	76. 3
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書V』〔D〕	鳥取県教委	77. 3
亀井熙人	「因幡国分寺跡」『日本考古学年報』28(1975年版)〔C〕	日考協	77. 4
亀井熙人	「因幡国分寺跡」『日本考古学年報』29(1976年版)〔D〕	日考協	78. 4
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書VII』〔E〕	鳥取県教委	79. 3

因幡国分尼寺 寺田遺跡 鳥取県岩美郡国府町大字法花寺

- A 74. 10～75. 3 その他
- B 76. 10～12 溝状遺構 その他
- C 78. 7～8 溝 柱穴 その他

鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書III』〔A〕	鳥取県教委	75. 3
亀井熙人	「因幡国分尼寺跡」『日本考古学年報』27(1974年版)〔A〕	日考協	76. 5
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書V』〔B〕	鳥取県教委	77. 3
乗安和二三	「寺田遺跡(推定因幡国分尼寺跡)」『日本考古学年報』29(1976年版)〔B〕	日考協	78. 4
鳥取県教委	『因幡国府遺跡発掘調査報告書VII』〔C〕	鳥取県教委	79. 3

伯耆国分寺*

鳥取県倉吉市国分寺薬師國府～國府



A 69. 10	塔	E 71. 11~12	寺域西限線
B 70. 1	塔	F 74. 9~11	寺域北方
C 70. 2~3	塔 寺域東限線	G 75.	伽藍中心部
D 70. 7~8	食堂 講堂 寺域北限線	H 78. 8	寺域南限線 伽藍中心部 寺域南限線

- 倉吉市教委 『伯耆国分寺発掘調査一現地説明資料一』〔D〕 倉吉市教委 70. 8
 倉吉市教委 『伯耆国分寺跡発掘調査報告』 I 〔C・D〕 倉吉市教委 71. 3
 宮沢智士* 『伯耆国分寺の発掘調査』『月刊文化財』90 〔C・D〕 第一法規出版 71. 3
 倉吉市教委 『伯耆国分寺のあらまし』 倉吉市教委 72.
 倉吉市教委 『伯耆国分寺 国分尼寺の発掘調査』〔C・D・E〕 倉吉市教委 72. 3
 佐藤興治 『伯耆国分寺 国分尼寺跡の発掘調査』『奈良国立文化財研究所年報』1972 〔E〕 奈文研 72. 5
 佐藤興治 『伯耆国分寺および国分尼寺』『日本考古学年報』24 (1971年版) 〔E〕 日考協 73. 3
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺 国庁推定地発掘調査一現地説明会資料』 倉吉市教委 74. 11
 〔C・D・F〕
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺 官衙跡発掘調査概報』〔F〕 倉吉市教委 75. 3
 佐藤興治 『伯耆国分寺 尼寺』『仏教芸術』103 特集・諸国国分寺の
発掘調査 〔C・D・E〕 毎日新聞社 75. 9
 佐藤興治 『伯耆国分尼寺 官衙跡の調査(2)』『奈良国立文化財研
究所年報』1975 奈文研 76. 3
 倉吉市教委 『伯耆国分寺跡環境整備に係る発掘調査概要一現地説明会
資料』〔G〕 倉吉市教委 76. 11
 鳥取県教委 『伯耆国分寺跡』『鳥取県文報』11 史跡天然記念物 鳥取県教委 79. 3
 〔C・D・E・G〕

伯耆国分尼寺*

鳥取県倉吉市国分寺國府

A 71. 11~12	南門 東門 寺域外郭線 掘立柱建物群
B 73. 10~11	南門 東門 北門 寺域外郭線 掘立柱建物群
C 74. 9~11	寺域外郭線 掘立柱建物

- 倉吉市教委 『伯耆国分寺 国分尼寺の発掘調査』〔A〕 倉吉市教委 72. 3
 佐藤興治 『伯耆国分寺 国分尼寺跡の発掘調査』『奈良国立文化財
研究所年報』1972 〔A〕 奈文研 72. 5
 佐藤興治 『伯耆国分寺および国分尼寺』『日本考古学年報』24 (1971年版) 〔A〕 日考協 73. 3
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺推定地発掘調査一現地説明会資料』〔B〕 倉吉市教委 73. 11
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺跡発掘調査概報』〔B〕 倉吉市教委 74. 3
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺 国庁推定地発掘調査現地説明会資料』〔C〕 倉吉市教委 74. 11
 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺 官衙跡発掘調査概報』〔C〕 倉吉市教委 75. 3
 岡本東三 『伯耆国分尼寺跡の調査』『奈良国立文化財研究所年報』
1974 〔B〕 奈文研 75. 3
 佐藤興治 『伯耆国分寺・尼寺』『仏教芸術』103 特集・諸国分寺の
発掘調査 〔A・B・C〕 每日新聞社 75. 9

出雲国分寺*

鳥取県松江市竹矢町大字中竹矢字寺領



A 55. 8	僧房
B 55. 11 ~ 12	金堂 塔 講堂 僧房 鐘樓 経樓 南門 寺域南限
C 56. 7	金堂 塔 講堂 僧房 鐘樓 経樓 南門 寺域南限
D 70. 6	僧房 瓦敷
E 71. 2 ~ 3	塔 中門 回廊

石田茂作 「出雲国分寺の発掘」『考古学雑誌』41-3 [A・B] 日本考古学会 56. 2

石田茂作* 「島根県松江市出雲国分寺跡」『日本考古学年報』8 (昭和30年度) [B] 日考協 59. 3

地方史研究所『出雲 隠岐』[C] 平凡社 63. 6

前島己基 「古代寺院跡」『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』[D・E] 島根県教委 75. 3

出雲国分尼寺

鳥取県松江市竹矢町大字中竹矢

A 73. 11	築地または回廊？ 溝
B 74. 10 ~ 12	金堂？ 講堂？ 寺域外郭線
C 75. 7 ~ 9	金堂？ 講堂？ 寺域外郭線

島根県教委 『出雲国分尼寺跡第1次発掘調査概報』[A] 島根県教委 74. 3

島根県教委 『出雲国分尼寺第2次発掘調査概報1974』[B] 島根県教委 74. 3

横山純夫 『出雲国分尼寺跡』『季刊文化財』23 [B] 文化財保護協会 74. 3

前島己基 『出雲国分尼寺跡』『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』 島根県教委 75. 3
[A・B]

近藤 正* 『出雲国分尼寺跡遺跡』『日本考古学年報』26 (1973年版) 日考協 75. 6
[A]

福田孝司 『出雲国分尼寺』『仏教藝術』103 特集諸國國分寺の発掘 調査[A・B] 毎日新聞社 75. 9

島根県教委 『出雲国分尼寺第3次発掘調査概報』[C] 島根県教委 76. 3

横山純夫 『出雲国分尼寺跡』『日本考古学年報』27 (1974年版) [B] 日考協 76. 5

横山純夫 『出雲国分尼寺跡』『日本考古学年報』28 (1975年版) [C] 日考協 77. 4

石見国分寺*

島根県浜田市国分町松林



野津左馬之助 「石見国府跡」『島根県史蹟名勝天然記念物調査報告』6 島根県 34. 3

石見国分尼寺

島根県浜田市国分町比丘尼所

隱岐国分寺^{*}

島根県隱岐郡西郷町大字池田字風呂前



後藤藏四郎 「隱岐国分寺跡」『島根県史蹟名勝天然記念物』6 島根県 34. 3
田中豊治 「隱岐島の史跡について」『島根県文化財調査報告』2 島根県教委 66. 3

隱岐国分尼寺

島根県隱岐郡西郷町大字有木字野中

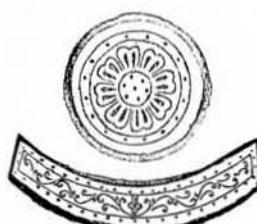
- A 67. 11 ~ 12 建物跡
B 69. 8 ~ 9 金堂？ 講堂？
C 70. 8 ~ 9 寺域外郭線

田中豊治 「隱岐島の史跡について」『島根県文化財調査報告』2 島根県教委 66. 3
勝部 昭 「調査報告隱岐国分寺跡」『季刊文化財』6 [A] 文化財保護協会 68. 7
近藤 正 「隱岐国分尼寺第二次発掘調査概要」『季刊文化財』13 [B] 文化財保護協会 71. 1
隱岐島後教委 『隱岐国分尼寺調査報告』〔B・C〕 隱岐島後教委 71. 3

山 陽 道

播磨国分寺^{*}

兵庫県姫路市御国野町国分寺谷



- A 68. 12 ~ 69. 1 金堂 中門 回廊 灯籠 その他
B 69. 3 ~ 4 南門 寺域南限・西限の築地
C 69. 寺域西南部 西堀 大路
D 70. 寺域西南部
E 70. 12 ~ 71. 2 北門 北築地 北西建築群

神戸大学多淵研究室[✉] 『史跡播磨国分寺跡発掘調査報告』1968・69〔A・B〕 姫路市教委 70. 3
多淵敏樹[✉] 『播磨国分寺第2次発掘調査について』『建築学会大会 学術講演梗概集(計画系)』 日本建築学会 70. 9
姫路市教委 『播磨国分寺跡発掘調査概報Ⅱ』1970・71〔E〕 姫路市教委 71. 3

播磨国分尼寺

昆沙門廃寺跡

兵庫県姫路市御国野町国分寺昆沙門

美作国分寺

岡山県津山市河辺国分寺



A 77. 3 講堂
B 77.11 ~ 78.2 金堂 中門 南門
C 79.

河本 清 「美作国分寺跡」『日本考古学年報』29 (1976年版) [A] 日考協 78. 4
津山市教委 「国府と国分寺」『図録 津山の史跡』〔B〕 津山市教委 78. 10

美作国分尼寺

岡山県津山市河辺国分寺

備前国分寺*

岡山県赤磐郡山陽町馬屋



A 74.12 ~ 75.3 金堂 講堂 僧房 中門 南門 寺域外郭線

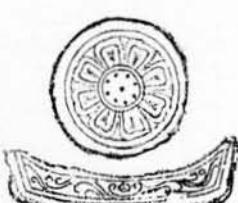
備前国分寺 発掘調査団 『備前国分寺緊急発掘調査現地説明資料』〔A〕 備前国分寺 発掘調査団 75. 2
備前国分寺跡 発掘調査団 『備前国分寺跡緊急発掘調査概報』県埋文報10 [A] 岡山県教委 75. 3
岡山県教委 「備前国分寺跡発掘調査」『岡山県埋蔵文化財報告』5 [A] 岡山県教委 75. 3
伊藤 晃 「備前国分寺」『仏教藝術』103 特集・諸国国分寺の発掘調査 [A] 毎日新聞社 75. 9
伊藤 晃 「備前国分寺跡」『日本考古学年報』27 (1974年版) [A] 日考協 76. 5

備前国分尼寺

岡山県赤磐郡山陽町大字馬屋下

備中国分寺*

岡山県総社市上林字国分寺



A 71.12 ~ 72.3 中門 南門 寺域外郭線 その他

岡山県教委 『吉備路風土記の丘環境整備に伴なう埋蔵文化財発掘調査
概要—備中国分寺跡備中国分尼寺跡民家移築地及び歴史
資料館建設予定地区調査—』〔A〕 岡山県教委 72. 3

葛原克人 「備中国分寺」『仏教藝術』103特集・諸国国分寺の発掘調査 [A] 毎日新聞社 75. 9

備中国分尼寺*

岡山県総社市上林

A 71.12 ~ 72.3 南大門前の古道

岡山県教委 『吉備路風土記の丘環境整備に伴なう埋蔵文化財発掘調査 概要—備中国分寺跡備中国分尼寺跡民家移築地及び歴史資料館建設予定地区調査—』[A] 岡山県教委 72.3

備後国分寺

広島県深安郡神辺町大字下御領



A 72.12 ~ 73.1 金堂

B 73.12 ~ 74.1 南門？ 寺域外郭線 基壇建物

C 74.12 ~ 75.2 塔 講堂 金堂 寺域南限溝？

D 76.1 ~ 2 塔 講堂 寺域東限線

広島県教委*『備後国分寺跡発掘ニュース』1[A] 広島県教委・神辺町教委 72.12

広島県教委 『備後国分寺跡第1次発掘調査概報』[A] 広島県教委 73.3

広島県教委*『備後国分寺跡発掘ニュース』2[B] 広島県教委・神辺町教委 74.1

広島県教委 『備中國分寺跡第2次発掘調査概報』[B] 広島県教委 74.3

河瀬正利 「備後国分寺跡遺跡」『日本考古学年報』25(1972年版)[A] 日考協 74.3

広島県教委*『備後国分寺跡発掘調査の概要』[C] 広島県教委・神辺町教委 75.1

広島県教委 『備後国分寺跡第3次発掘調査概報』[C] 広島県教委 75.3

河瀬正利 「備後国分寺」『日本考古学年報』26(1973年版)[B] 日考協 75.6

松下正司 「備後国分寺」『仏教藝術』103特集・諸国国分寺の発掘調査 [B・C] 毎日新聞社 75.9

草戸研*『1975年度備後国分寺・神辺御領遺跡発掘調査ニュース』[D] 神辺町教委
・広島県教委・草戸千軒町遺跡調査研究所 76.1

松下正司 「発掘調査ニュース備後国分寺跡(第4次調査)」「調査研草戸千軒町
究ニュース草戸千軒町遺跡」32[D] 遺跡調査研究所 76.2

広島県教委 『備後国分寺跡第4次発掘調査概報』[D] 広島県教委 76.3

鹿見啓太郎 「備後国分寺跡(第3次調査)」『日本考古学年報』27(1974年版)[C] 日考協 76.5

松下正司 「備後国分寺跡調査の成果」『広島史学研究大会 中国四
国歴史学地理学協会大会プログラム』[A~D] 広島史学研
究会 76.10

松下正司 「備後国分寺跡第4次調査」『日本考古学年報』28(1975年版)[D] 日考協 77.4

備後国分尼寺

小山池廃寺跡

広島県深安郡神辺町大字西中条字藤森

A 76.11 ~ 12 塔

B 77.2 ~ 3 塔 西方建物

C 78.11 ~ 12 東方建物 窯跡

広島県教委	『小山池廃寺発掘調査概報—第1・2次—』〔A・B〕	広島県教委	77. 3
三好晴弘	『小山池廃寺跡（第一次）』『日本考古学年報』29(1976年) 日考協 〔A〕	78. 4	
三好晴弘	『小山池廃寺跡（第二次）』『日本考古学年報』29(1976年) 日考協 〔B〕	78. 4	
広島県教委	『小山池廃寺発掘調査概報—第3次—』〔C〕	広島県教委	79. 3

安芸国分寺*

広島県東広島市西条町大字吉行字伽藍



- | | |
|-------------|----------------------|
| A 32. 11～12 | 塔 |
| B 69. 11～12 | 中門 南門 寺域外郭線？ |
| C 70. 11～12 | 講堂 中門 寺域北限 |
| D 71. 11～12 | 金堂 講堂 寺域東・西・北築地 北方建物 |

北川鐵三	「安芸国分寺塔跡」『廣島県史蹟名勝天然紀念物調査報告』 史蹟名勝天 然紀念物保存協会 4 [A]	37. 5
広島県教委	『安芸国分寺跡——第1次調査概報』〔B〕	広島県教委 70. 3
広島県教委	『安芸国分寺跡——第2次調査概報』〔C〕	広島県教委 71. 3
広島県教委	『安芸国分寺跡——第3次調査概報』〔D〕	広島県教委 72. 3
河瀬正利	「安芸国分寺跡」『日本考古学年報』24(1971年版)〔D〕	日考協 73. 3
松下正司	「安芸国分寺」『仏教芸術』103 特集・諸国国分寺の発 掘調査〔A・B・C・D〕	毎日新聞社 75. 9

安芸国分尼寺

広島県東広島市西条町大字吉行字伽藍

- | | |
|-------------|-----------|
| A 77. 11～12 | 基壇状遺構 築地？ |
| B 78. 12～1 | その他 |

広島県教委	『安芸国分尼寺跡——第1次調査概報——』〔A〕	広島県教委 78. 3
広島県教委	『安芸国分尼寺跡——第2次調査概報——』〔B〕	広島県教委 79. 3

周防国分寺*

山口県防府市国分寺町



- | | |
|------------|-------------|
| A 53. 9～10 | 塔 |
| B 54. 1 | 塔 南門 回廊 その他 |
| C 54. 6 | 中門 |
| D 55. 10 | 金堂 塔 中門 |
| E 55. 12 | 金堂 塔 回廊 |

山口県教委 「周防国分寺跡」『山口県文化財概要』4〔A・B・C・D・E〕 山口県教委 61. 3

周防国分尼寺

山口県防府市国分寺町

長門国分寺

山口県下関市長府安養寺



A 77. 7 ~ 8

B 79. 7 ~ 8

寺域東限線

金堂 回廊

下関市教委 『長門国府 長門国府周辺遺跡調査報告』〔A〕

下関市教委 78. 3

長門国分尼寺

南 海 道

紀伊国分寺

和歌山県那賀郡打田町大字東国分字八光～官ノ前



A 73. 7 ~ 75. 3 金堂 講堂 僧房 軒廊

B 74. 7 ~ 75. 3 僧房 軒廊 鐘樓 中門 南門

C 75. 4 ~ 76. 3 塔 鐘樓 回廊

笠井保夫 「紀伊国分寺」『仏教藝術』103 特集・諸国国分寺の発掘調査〔A・B〕 毎日新聞社 75. 9

笠井保夫 「紀伊国分寺跡」『日本考古学年報』28 (1975年版)〔C〕 日考協 77. 4

藤井保夫 「紀伊国分寺跡出土の瓦」『和歌山の研究』第一巻 清文堂 79. 3

和歌山県教委 『紀伊国分寺』〔A・B・C〕 和歌山県教委 79. 3

紀伊国分尼寺

西国分廃寺

和歌山県那賀郡岩出町西国分

A 75. 11 ~ 76. 3 塔 塔北側東西溝 塔南側東西溝

B 76. 11 ~ 77. 3 塔 塔北西部掘立柱群

C 77. 11 ~ 78. 3 塔東側南北溝

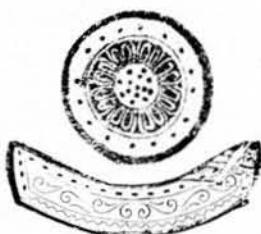
D 78. 7 ~ 8 塔東側掘立柱群

桃野真晃 「西国分廃寺」『仏教藝術』116 特集・古代寺院の発掘調査〔A・B〕 每日新聞社 77. 12

和歌山県教育委員会 『紀伊国分寺』〔A・B・C・D〕 和歌山県教委 79. 3

淡路国分寺*

兵庫県三原郡三原町八木小字国分



A 67. 7～8

境内 塔北方 鐘楼（近世）

兼子俊一	「淡路国分寺」『国分寺の研究』下	考古学研究会	38. 8
京都大学考古学研究会	「淡路国分寺址発掘調査概報」『とれんち』20—1	京都大学考古学研究会	67. 11
高井梯三郎	『淡路国分寺寺域一部発掘調査の概要報告』	三原町教委	68. 2

淡路国分尼寺

兵庫県三原郡三原町八木小字新社

阿波国分寺

徳島県徳島市国府町矢野



A 76. 5 南門？

B 78. 11～12 築地状遺構 その他

徳島県教委	「阿波国分寺跡緊急発掘調査概報—徳島市道改築工事に伴う緊急発掘調査—」『徳島県文化財調査概報』1976年度(A)	徳島県教委	76. 5
徳島市教委	『阿波国分寺跡第1次中間報告現地説明会資料』〔B〕	徳島市教委	78. 12
徳島市教委	「発掘調査の成果 阿波国分寺跡（第1次）」「徳島市文化財だより」2 〔B〕	徳島市教委	79. 3

阿波国分尼寺*

徳島県名西郡石井町石井字尼寺

A 70. 11

B 70. 12 金堂

C 71. 11～12 金堂 北門 寺域外郭線

徳島県教委*	『阿波国分尼寺跡緊急発掘調査概報』〔B〕	徳島県教委	71. 3
徳島県教委*	『阿波国分尼寺遺跡（第2次）緊急発掘調査概報』〔C〕	徳島県教委	72. 3
石川重平	「阿波国分寺跡」『日本考古学年報』24（1971年版）〔C〕	日考協	73. 3
田辺征夫	「阿波国分尼寺」『仏教藝術』103 特集・諸国国分寺の発掘調査	毎日新聞社	75. 9

讃岐国分寺*

香川県坂出市国分寺町国府

A 77.



讃岐国分尼寺*

香川県坂出市国分寺町端岡

伊予国分寺*

愛媛県今治市国分甲 680

A 68.3

塔 回廊



愛媛県教委 『伊予国分寺発掘調査概要』〔A〕

愛媛県教委 68. 3

愛媛県教委 『伊予国分寺発掘調査概要』『愛媛の文化財』8〔A〕 愛媛文化財保護協会 68.11

坪井清足 「近年発掘調査された諸国の国分寺」『仏教芸術』71〔A〕 毎日新聞社 69. 7

伊予国分尼寺

他中廃寺跡

愛媛県今治市桜井他中 864-2 法華寺

土佐国分寺*

高知県南国市国分

A 77.2

遺構未確認



B 77.5

C 78.9

岡本健児* 『土佐国分寺鐘楼建立・書院改築に伴う発掘調査』〔A・B〕 土佐国分寺 78. 2

岡本健児 『土佐国分寺跡』『日本考古学年報』29(1976年版)〔A〕 日考協 78. 4

岡本健児* 『土佐国分寺庫裡改築に伴う発掘調査概報』〔C〕 土佐国分寺 79.10

土佐国分尼寺

比江廃寺跡*

高知県南国市比江土居屋敷

土佐国分寺瓦窯

東谷窯跡

高知県香美郡土佐山田町新改

A 77.8

土佐山田町 教育委員会 『新改東谷古窯群の発掘』

土佐山田町教委 78. 3

西 海 道

筑前国分寺*

福岡県筑紫郡太宰府町大字国分



- | | |
|--------------|-----------|
| A 60.1 | 金堂 塔 講堂 |
| B 74. | 金堂 |
| C 76.3 | 回廊 |
| D 76.10~11 | 塔 |
| E 77.6~12 | その他（南門南側） |
| F 77.11~78.1 | 講堂 回廊 |
| G 77.12 | 寺域外郭線 |

鏡山 猛	『太宰府都城の研究』〔A〕	風間書房	68. 6
九州歴史資料館	「筑前国分寺回廊跡の発掘調査」『九州歴史資料館年報昭和50年度』〔C〕	九州歴史資料館	76. 8
福岡県教委	『筑前国分寺 昭和51年度発掘調査概報』〔D〕	福岡県教委	77. 3
藤井 功	『西都太宰府』NHKブックス277〔B〕	日本放送出版協会	77. 3
福岡県教委	『筑前国分寺 昭和52年度発掘調査概要』〔E・F・G〕	福岡県教委	78. 3
森田 勉	「福岡県筑前国分寺塔跡」『日本考古学年報』29(1976年版)〔D〕	日考協	78. 4

筑前国分尼寺

福岡県筑紫郡太宰府町大字国分

筑前国分寺瓦窯

国分瓦窯跡*

福岡県筑紫郡太宰府町大字国分字坂本

- A 52.

鏡山 猛	「筑前国分寺」『国分寺の研究』下	考古学研究会	38. 8
小田富士雄	「古代中世における手工業の発達 窯業 九州」『日本の考古学』VI 歴史時代(上)〔A〕	河出書房	67. 7
小田富士雄	「古代寺院の研究」『九州考古学研究』歴史時代篇〔A〕	学生社	77. 1

筑後国分寺

福岡県久留米市国分町大字谷



- | | |
|-------------|-------|
| A 52 | 遺構未確認 |
| B 69.4~5 | 遺構未確認 |
| C 74.8 | 遺構未確認 |
| D 77.7~78.3 | 講堂 |

福岡県教委 『筑後国分寺 久留米市国分町所在推定国分寺跡の調査』 福岡県教委 70. 3
福岡県文報44〔B〕

久留米市教委 『筑後国分寺跡(1)』 久留米市文報18〔D〕 久留米市教委 78. 3

筑後国分尼寺

福岡県久留米市国分町大字西村

A 69. 4～5 遺構未確認

筑後国分寺瓦窯

福岡県久留米市国分町馬場田

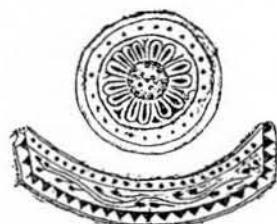
A 64. 3

小田富士雄 「古代寺院の研究」『九州考古学研究』歴史時代篇〔A〕 学生社 77. 1

豊前国分寺^{*}

福岡県京都郡豊津町大字国分

A 74. 8～9 基壇状遺構



豊津町教委 『豊前国分寺 豊前国分寺跡発掘調査概報』豊津町文報1
〔A〕 豊津町教委 75. 3

森田 勉 「豊前国分寺」「とよ」2 豊前国府・国分寺調査研究会会報 同研究会 76. 2
横田義章 「豊前国分寺遺跡」『日本考古学年報』27(1974年版)〔A〕 日考協 76. 5

豊前国分尼寺

福岡県京都郡豊津町大字徳政

豊前国分寺瓦窯 德政瓦窯跡 福岡県京都郡豊津町大字徳政

A 75. 1

森 貞次郎 「豊前国分寺」「国分寺の研究」下 考古学研究会 38. 8

小田富士雄 「古代・中世における手工業の発達 窯業 九州」「日本」河出書房 67. 7
の考古学 VI 歴史時代 上

豊後国分寺^{*}

大分県大分市大字国分



A 74. 11～12 金堂？ 塔 講堂？

B 75. 11～76. 2 塔 講堂 南門 回廊

C 76. 11～77. 1 東門 西門 回廊

D 78. 3～4 金堂

E 78. 5 瓦溜

大分市教委 『豊後国分寺跡 昭和49年度発掘調査概報』〔A〕

大分市教委 75. 3

大分市教委 『豊後国分寺跡 昭和50年度発掘調査概報』〔B〕

大分市教委 76. 3

後藤宗俊	「豊後国分寺跡」『日本考古学年報』27 (1974年版) [A]	日 考 協	76. 4
大分市教委	『豊後国分寺跡 昭和51年度発掘調査概報』[C]	大分市教委	77. 3
真野和夫	「豊後国分寺跡第2次調査」『日本考古学年報』(1975年版) 〔B〕	日 考 協	77. 4
真野和夫	「豊後国分寺跡第3次調査」『日本考古学年報』(1976年版) 〔C〕	日 考 協	78. 4
大分市教委	『豊後国分寺跡』〔A・B・C・D・E〕	大分市教委	79. 3

豊後国分尼寺 大分県大分市大字永興
大分県大分市大字国分

肥前国分寺 佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺字真島



A 74.10～11 金堂または講堂 西門 寺域外郭線
B 75.5～7 金堂 中門 寺域外郭線

大和町教委	『肥前国分寺跡発掘調査概報第1次』[A]	大和町教委	75. 3
高島忠平	「肥前国分寺跡」『日本考古学年報』27 (1974年版) [A]	日 考 協	76. 5
高島忠平	「肥前国分寺跡」『日本考古学年報』28 (1975年版) [B]	日 考 協	77. 4

肥前国分尼寺 佐賀県佐賀市大和町大字尼寺字尼寺

肥前国分寺瓦窯 柿園瓦窯跡 佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺字柿園1076-1

A 61.

鶴久嗣郎	「肥前国分寺瓦窯址調査 (昭和36年度西日本史学会春季 九州考古学会 大会研究発表要旨)」『九州考古学』13 [A]	九州考古学会	61. 9
小田富士雄	「古代・中世における手工業の発達 窯業 九州」『日本 の考古学』VI歴史時代(上) [A]	河出書房	67. 7
小田富士雄	「古代寺院の研究」『九州考古学研究』歴史時代篇 [A]	学 生 社	77. 1

肥後国分寺 熊本県熊本市出水町



A 71.8 塔 回廊

- 高野啓一 「肥後国分寺塔跡」『日本考古学年報』24(1971年版)〔A〕 日考協 73. 3
 松本雅明 「肥後国分僧寺—熊本市出水遺跡」『熊本市南部地区文化財調査報告書』〔A〕 熊本市教委 75. 3

肥後国分尼寺

熊本県熊本市出水町陣山

- A 66.4 金堂 講堂 中門 南門 東回廊 北回廊
 B 74.8 金堂

- 松本雅明 「肥後国国分尼寺」『熊本市南部地区文化財調査報告書』 熊本市教委 75. 3
 〔A・B〕

日向国分寺

宮崎県西都市妻町三宅字国分



- A 48.4 寺域外郭線 土壇
 B 61.12 溝状遺構 柱穴

- 松本 昭 「宮崎県日向国分寺」『日本考古学年報』1(昭和23年度) 日考協 51.10
 〔A〕
 宮崎県教委 『日向国分寺跡』日向遺跡総合調査報告 3 〔B〕 宮崎県教委 63. 3

日向国分尼寺

宮崎県西都市妻町大字右松字諫訪

大隅国分寺*

鹿児島県国分市向花町



大隅国分尼寺

鹿児島県国分市向花町

薩摩国分寺*

鹿児島県川内市国分寺町字大都～字下台



- A 68.8 金堂 塔 講堂 経蔵？(金堂北西の掘立柱建物)
 B 69.7～8 講堂 回廊 経蔵？
 C 70.8 回廊
 D 78.10～11 金堂 講堂 中門？ 寺域外郭線

鹿児島県教委『昭和43年度薩摩国分寺跡発掘調査報告書』〔A〕	鹿児島県教委	69. 3
坪井清足 「近年発掘調査された諸国の国分寺」薩摩国分寺『仏教芸術』71〔A〕	毎日新聞社	69. 7
鹿児島県教委『薩摩国分寺第2次発掘調査報告書』〔B〕	鹿児島県教委	70. 3
鹿児島県教委『昭和45年度薩摩国分寺跡第三次発掘調査報告書』〔C〕	鹿児島県教委	71. 3
鹿児島県教委『薩摩国府跡 国分寺跡』〔A・B・C〕	鹿児島県教委	75. 3
鹿児島県考 古学会 『薩摩国府跡 国分寺跡』〔A・B・C〕<鹿児島県教委 古学会 発行の報告書と内容は同じ>	鹿児島県考 古学会	75. 5
川内市教委 『薩摩国分寺跡 昭和53年度発掘調査概報』〔D〕	川内市教委	79. 3

薩摩国分尼寺 鹿児島県川内市天辰町川原

薩摩国分寺瓦窯 鶴峯窯跡 鹿児島県川内市中郷町鶴峯

A 66. 7

小田富士雄 「薩摩国分寺瓦窯の発見」『九州考古学』21〔A〕	九州考古学会	67. 4
河口貞徳 「鹿児島県川内市鶴峯窯跡」『日本考古学年報』19(昭和41年度)〔A〕	日 考 協	71. 3
鹿児島県教委「鶴峯窯跡の調査(薩摩国分寺瓦窯の調査)」「薩摩国府跡 国分寺跡」	鹿児島県教委	75. 3
小田富士雄 「古代寺院の研究」『九州考古学研究』歴史時代篇〔A〕	学 生 社	77. 1

壱岐島分寺 長崎県壱岐郡芦辺町国分本村触中野



対馬島分寺 長崎県下県郡厳原町大字今屋敷

種子島分寺

